

令和3年度 我孫子中学校 全国学力・学習状況調査 分析結果

5月27日(木)に3年生を対象に実施した、全国学力・学習状況調査(国語・数学・アンケート)の分析結果を以下に載せますのでご覧ください。

【国語】

今回の調査で出題された国語の学習指導要領の領域は4つに分かれます。

①話すこと・聞くこと ②書くこと ③読むこと ④伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
上記の4つの領域について、3つの問題形式で出題されました。

①選択式 ②短答式 ③記述式

これらを踏まえ、我孫子中学校の国語の調査結果で見えた課題、改善のための手立ては以下の通りです。

○令和3年度の調査結果の分析

I. 調査結果にみられる特徴と現状分析

ほぼ全国平均と同レベルだが、伝統的な国語文化の事項がやや弱い。

II. 改善目標

語句の力をつけ、作文を書く能力を高める。

III. 改善方策

敬語や慣用句などの取り立て学習を行う。学習指導において、作文にも多めに時間を取っていきたい。

IV. 検証方法

到達度、単元テストで検証していく。作文は随時、書く機会を作り添削し、評価する。

○令和3年度、平成31年度、平成30年度の調査を比較した分析

I. 調査結果にみられる成果と課題

年度によって違いが大きいだが、読解力は毎年、安定している。学力的な中間層は厚い。伝統的な言語文化は、まず触れる機会を多く作りたい。記述力も伸びてきているが、さらに向上を目指したい。

II. 改善目標

読解力、表現力の向上。

III. 改善方策

作文の指導を計画的に進めることが大切である。折にふれて作文を書く機会を作り、添削する。グラフなど、資料を読み取る力をつけさせたい。

IV. 検証方法

単元に応じて、自分の考えを文章で表現する。教科担任が評価する。語彙力について、短文作成などで、その習得状況を把握する。

【数学】

今回のテストで出題された数学の学習指導要領の領域は4つに分かれます。

①数と式 ②図形 ③関数 ④資料の活用

上記の4つの領域について、3つの問題形式で出題されました。

①選択式 ②短答式 ③記述式

これらを踏まえ、我孫子中学校の数学の調査結果で見えた課題、改善のための手立ては以下の通りです。

○令和3年度の調査結果の分析

I. 調査結果にみられる特徴と現状分析

全国、県と比較して数学は高い数値をとることができた。どの分野においてもバランスよく、平均を上回った。

II. 改善目標

数学の中でも、関数と資料の活用などのグラフや資料を用いて、考える問題の正答率を上げる。

III. 改善方策

応用・日常での出来事と関係のある問題を多く取り組み、パターンだけで解けない問題に触れる機会を増やす。

IV. 検証方法

定期、単元テストで、授業中にはやっていない例で問題を出し、応用力がついているか検証、評価する。

○令和3年度、平成31年度、平成30年度の調査を比較した分析

I. 調査結果にみられる成果と課題

成果としては、基本的な計算問題や単答式の問題の理解力は上がっている。2分前学習が影響しているものとする。課題は、数学的思考力の向上にあるので、計算過程や論述式の問題の対策を取り入れる。

II. 改善目標

数学的思考力の向上。

III. 改善方策

計算過程や論述式の問題の対策が必要である。取組は、1単元に1回レポートの作成を行い、日常に生かされている数学的な考え方を育てる。また、授業やテストでも論述式の問題を取り入れ、練習する。

IV. 検証方法

数学的思考力として、レポートは1単元に1回提出を行い、自分の考えが書けているかを見る。また、論述式の問題については、書く練習を授業で行い、教科担任がチェックをする。テストで評価する。

【アンケート】

国語と数学の学力調査の他に、生徒へアンケートを行った。生徒へのアンケートの主な観点は5つである。

①国語への関心等 ②数学への関心等 ③規範意識 ④自己有用感 ⑤生活習慣・学習習慣

○令和3年度の調査結果の分析

生活習慣・学習習慣が全国平均と比べて低くなっている。生徒の回答を見てみると、朝食を食べていない生徒が平均に比べて本校は多い。朝食をとることの大切さを引き続き指導する必要があると感じる。また、国語への関心が平均より低くなっている。研修等を通して授業力の向上を図っていききたい。

○令和3年度、平成31年度、平成30年度の調査を比較した分析

数学への関心が一昨年度までから大幅に上がっている。ICT機器を活用したり、研修を行ったりした成果かと思われる。また、自己有用感についても過去年度より高くなり、全国平均を上回っている。コロナ過の中ではあったが、実施可能な行事で生徒が主体的に取り組むように活動を計画した成果かと思われる。今後も達成感を持てるような取組を行っていききたい。